

## 北播磨地域ビジョン委員会「生活分科会」第10回記録

- 1 日時:令和3年3月4日(木) 18:00~19:30
- 2 場所:兵庫県社総合庁舎本館入札室
- 3 参加者:生活分科会メンバー 5名出席 他分科会3名出席 県民局3名

### 4 災害弱者を知る勉強会

- ・多可町地域共生社会づくりアドバイザー小嶋明さん、多可町役場地域共生社会づくり推進担当生田恵子課長補佐、同安田一司参事に、「多文化共生社会の福祉と防災の融合」というテーマで講義していただいた。

#### (概要)

- 1)はじめに:よそ事でない南海トラフ地震 小嶋様から  
南海トラフ地震の震度⇒絵本を発行(令和元年11月)。
- 2)防災コミュニティづくり 小嶋様から
  - ・佐用町の09災害に学ぶ 藤本あさみさん「災害時には死を覚悟」。  
当時中村町区長
  - ・補完性の原理の災害行動計画 中村長区長として、計画づくり。  
災害初動期は隣保10戸~15戸で。
  - ・災害時要援護者避難個別計画 福祉のまちづくり  
防災コミュニティ(中村八郎、森勢郁生、関西靖)  
中村町防災行動計画づくり
- 3)老人漂流社会と2025年問題 小嶋様から
  - ・老後破産と2025年
  - ・健康大事・・・1に運動、2に食事、3に交流、最後はコミュニティ。
  - ・生活習慣病による入院2%、医療費の33%。
- 4)地域を基盤としたケア 小嶋様から
  - ・ラジオ体操を2014年開始。
  - ・地域医療者の先駆者との出会い・・・多可赤十字病院松浦院長、安田健康福祉課長  
⇒地域ケア研究会(2014年、勉強会)・・・学び、気づき、実践  
⇒地域ケア個別会議  
⇒NPO法人じーば(2017年4月~)・・・コンセプト:自場(セルフケア)、地場(地域ケア)、時場(現代的課題)、磁場(情報力)
  - ・NPO法人じーばの活動・・・高齢者支援活動:(例)ゴミ屋敷の片付け、[国交省]移送サービス、事故、
  - ・ケアマネが困っている。国では多文化共生というが現場は大変。
  - ・1隅を照らす・・・ぽつんと一軒家。
  - ・SOSと言える人は5%、要支援者95%=ミスマッチ。
  - ・ご近所マップ:地域力のわかる地図づくり。
  - ・身近なところでの訓練・・・消火栓開かない、どうして水を出すか。

- ・要援護者の個別支援計画・・・1/17 知事コメント(避難行動要支援者の個別支援計画の作成支援)。福祉と防災の融和した活動が必要。
- ・TAKAバッジコークゼミバッジ・・・串だんごの串になる人材育成。

#### 5) 地域共生社会づくり:コークゼミ 生田課長補佐から

- ・コークゼミ・・・平成30年度から開講。
- ・コークラボ・・・令和2年10月開所。
- ・ブルーメンやまとでの音楽会・・・人が中心、人と人のつながり。

#### 6) たかテレビコークゼミ通信2月号 生田課長補佐から

- ・月1回の番組で紹介。
- ・DVD視聴:YouTubu「コークゼミ通信(令和3年2月)」。

#### 7) どうなる介護保険制度 安田参事から

・人口の急減、高齢化率の上昇、多可町の現況と未来予測、介護給付の上昇、介護保険料の引き上げ、介護保険の限界、地域共生社会の樹立、災害時の助け合い、共に生きるまちづくり、福祉のまちづくり型「平時からの地域のつながりあい活動」、集落での要援護者・要支援者を見守るネットワークづくり。

#### 8) 演習:ご近所マップからなにが見える 小嶋様から

- ・現代版「むこう三軒両どなり」・・・身の回りの実態を把握する。

#### 9) おしまいに:サラダボールはなに色 小嶋様から

- ・地域のイメージカラー。
- ・中心の人のつながり。地域にどう見えているのか。
- ・グループワーク⇒積み上げ⇒望ましいこと、見直し、年2回まとめ、体系化⇒今年度のテーマ⇒気づき、学びを体系化。課題を見える化。人と人をつなぐ地道な作業の繰り返し。

分会長:分科会として今後災害弱者の支援につながる活動の参考にさせていただきます。

## 5 その他

- ・延期になった西脇市「みらいえ DE 防災体験」への参画について

3月27日(日)10時30分～12時30分(雨天中止)で開催されるので、参加をお願いする。防災ワークショップ「新聞スリッパ作り体験」。

## 6 次回開催日程

4月に開催。後日日程調整。

## 7 閉会